

設置の経緯(第33期東京都青少年問題協議会答申)

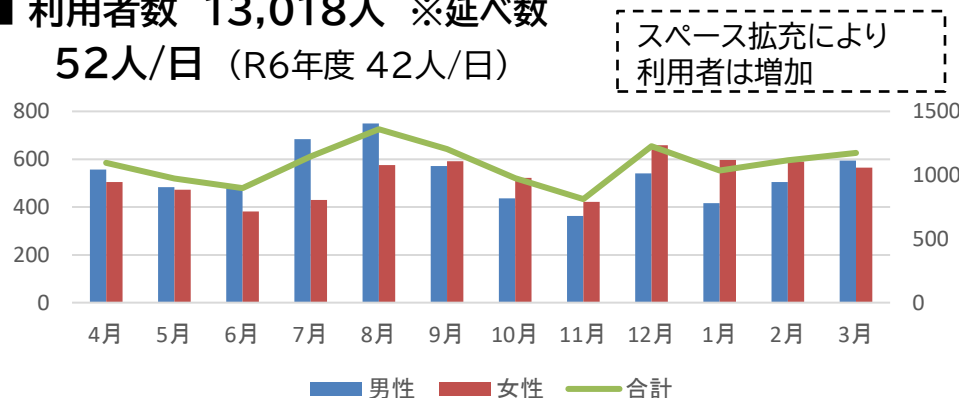
- 諮問事項:犯罪被害等のリスクを抱える青少年への支援について(令和5年1月23日)
- 答申(抜粋):青少年が気軽に来ることができる相談窓口等を構築すべき(令和5年7月27日)

相談窓口の概要

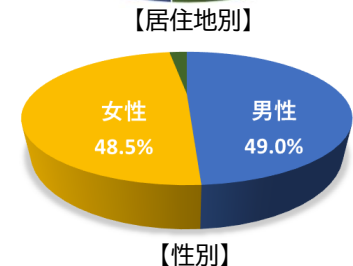
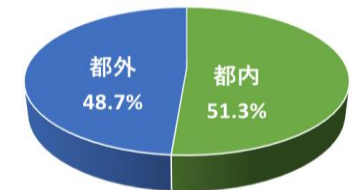
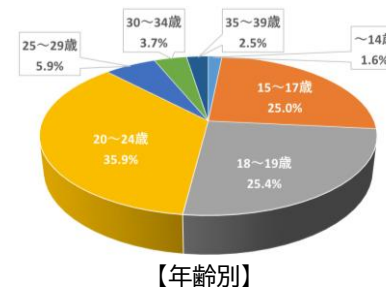
- 運用開始: 令和6年5月～
- 利用時間: 火～土曜日の15時～21時
(年末年始、祝日を除く)
- 対象者: 未成年～30代
- 場所: 健康プラザハイジア17階
- 運営体制
社会福祉士や心理士、看護師などの相談員10～12名程度が常時対応。その他、警備員を配置
- 連携状況
医療機関・薬物依存の専門機関や法テラスのほか福祉、教育、民間支援団体等と幅広く連携

令和7年度の運営状況

- 利用者数 13,018人 ※延べ数
52人/日 (R6年度 42人/日)



利用者の内訳



支援につながった例

福祉事務所、就労支援機関、
医療機関、女性支援団体など
362件 (R6年度 130件)

- ✓ 希死念慮の強い20代女性を、NPOや警察と連携しながら保護
- ✓ 夜職からの脱出を希望する20代男性について、Tokyoチャレンジネット(福祉局)と連携し、介護資格取得をサポート
- ✓ オーバードーズして来所した10代女性に、窓口の看護師を中心に対応し、連携した医療機関へ搬送

歌舞伎町に集まる青少年・若者への支援体制

きみまもから支援機関につなぐ流れ

歌舞伎町広場など

様々な悩みを抱え
歌舞伎町を訪れた
青少年・若者への
声かけ



法テラス
医療機関
等とも連携

(抱える悩みや課題)

生活困窮
住居不安定

家族不和・DV
児童虐待

オーバードーズ
飲酒・喫煙等

希死念慮
不安、リスク

性被害、売春
予期せぬ妊娠

金銭トラブル

昼職希望

いじめ
学習面の悩み

(主なつなぎ先)

【福祉】

児童相談所

生活福祉・福祉事務所

自立支援施設

女性相談支援センター

女性支援・DV支援

女性支援NPO

青少年・若者支援NPO

【保健・医療】

医療機関・救急

心療内科・精神科

薬物等依存専門機関

こころの健康相談窓口

クリニック

【就労・雇用】

ハローワーク

Tokyoチャレンジネット

自治体就労雇用窓口

サポステ

【教育】

教育相談センター

不登校支援NPO

【司法・被害者支援等】

警視庁・所轄警察署

法律相談

更生保護施設

犯罪被害者相談

消費生活センター

地域をパトロールし、
青少年・若者に声かけ
→ 必要に応じてきみまもへ誘導

「きみまも@歌舞伎町」では利用者に雑談しながら過ごしてもらい、来所を重ねる中で相談員との信頼関係を構築。複雑な課題が見えてきた中で、利用者の状況に応じて、福祉、保健・医療、就労、教育など専門の支援機関につないでいる

※ 必要に応じてつなぎ先との連絡調整や同行支援、フォローアップも実施